ハラスメント防止条例調査特別委員会

議会におけるハラスメント防止条例の制定を目指して

ハラスメント防止条例調査特別委員会は、7月22日に福岡県小郡市と佐賀県鳥栖市議会を視察しました。

小郡市

相談しやすさと第三者性を重視した体制

小郡市では、内部の相談窓口に加え、外部専門機関による相談窓口を設置し、匿名相談にも対応しています。本人の承諾なく相談内容を共有しない仕組みなど、相談者が安心して声を上げられる環境づくりが進められていました。また、調査が必要な場合には、外部委託業者が事実関係の調査や事実認定、再発防止措置等を検討し、必要に応じて弁護士等を含む調査体制を設けるなど、公平性・第三者性の確保が図られていました。



小郡市での視察の様子

鳥栖市議会

議会独自条例の仕組みと運用上の課題

鳥栖市議会では、議員によるハラスメント防止を目的とした条例を制定し、相談員、議員で構成する調査委員会、外部有識者による審査会を設置しています。また、職員への過大な要求や長時間の対応の強要なども、ハラスメントになり得る行為として明示されています。一方、市長部局と議会をつなぐ仕組みや相談員の中立性、正当な議員活動とハラスメントとの線引きなど、実際の運用に向けた課題についても説明を受けました。



鳥栖市議会での視察の様子

八女市にどう活かす・研修を終えて

両市の視察を通じ、条例を制定するだけでなく、相談から調査、事実認定、当事者への対応、再発防止までの流れを具体化することが重要だと確認しました。八女市議会でも、市長部局との連携や第三者性の確保などを整理し、実際に機能する条例と運用体制の構築につなげてまいります。

花下　主茂

市民と議会の意見交換会

厚生常任委員会は、市内で活動するこども食堂の運営団体、社会福祉協議会と意見交換会を行いました。抱えている課題を直接聞き、議員の政策立案能力を強化するための重要な機会となりました。各運営団体から出たご意見の一部を紹介します。

●テーマ：こども食堂における課題について　**●会　場：八女市役所**

●開催日時：令和８年７月２４日（金）　**●団　体：八女市内のこども食堂9団体・社会福祉協議会**

現在、こども食堂への参加を高齢者にも呼びかけ、こどもと高齢者が同じテーブルを囲み、食事をする良い機会となっている。しかし、スタッフの高齢化・人員不足等に加え、中東情勢による物価高騰が切実な悩みである。市の補助金や様々なところからの支援を受け、限られた予算で運営しているが、支援が継続されるのか不安である。また、本当に支援が必要なこどもへ届いていないようにも思う。さらには、地域の理解が進まず孤独を感じることもある。継続的かつより充実した支援を要望するとともに、こども食堂の現場を実際に見ていただきたい。

